

令和3年度 シラバス

教科	家庭	科目	家庭基礎	学年	第1学年	学 科 類 科 型	普通科
単位数	2単位	教科書	家庭基礎 自立・共生・創造（東京書籍）				
副教材	家庭科ノート（高教研家庭部会） 調理実習ノート（高教研家庭部会） 2021最新生活ハンドブック（第一学習社）						

学習目標	人の一生と家族、福祉、衣食住、消費生活などについて学び、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けます。 家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けます。
------	--

キャリア教育の視点	家庭基礎では、人の生涯に渡る発達と生活の営みを総合的に捉え、生涯発達の視点に立ち自立した社会の一員として、生きる力を身に付けることを重視しています。学んだ知識と技術を生かして、各自の家庭生活や地域の生活に深い関心を持ち、課題を見出し、これを改善充実しようとする積極的な姿勢を養います。
-----------	--

			学習計画及び内容	考 査
1 学 期	4月	第1章 自分らしい人生をつくる	各ライフステージの特徴と課題について学び、男女が相互に協力して家庭を築くことの重要性や家庭生活の在り方について考えます。 家族・家庭に関する基礎的な法律を知り、現在の動きを把握します。また、家事労働、職業労働、ワーク・ライフ・バランスについて考えます。	期末考査
	5月		子どもの育つ力と発達段階を知り、愛着の形成と親としての成長を理解します。また、児童福祉の理念を理解し、子育て支援の現状を学びます。	
	6月	第2章 子どもと共に育つ	被服の様々な役割、衣服の表示、被服に適した選択や保管方法を学びます。	
	7月	第6章 衣生活をつくる		
2 学 期	8月	第5章 食生活をつくる	食生活の変化や課題、食品の栄養的特質や調理上の性質について科学的に理解し、食品の選択や調理の際の安全に関する必要事項を学びます。	期末考査
	9月		調理実習を通して、基本的な調理技術を学び、日常食を作れるようにします。	
	10月		住居の機能や間取りについて理解し、ライフステージに合った住居について考えます。	
	11月 12月	第7章 住生活をつくる		
3 学 期	1月	第8章 経済生活を営む	家計管理の重要性を認識し、契約、キャッシュレス社会、消費者信用などについて学習し、適切な消費行動をする力を身に付けます。	学年末考査
	2月	第3章 高齢社会を生きる	高齢社会の現状と課題、高齢期の心身の変化や特徴、高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題について考えます。	
	3月	第9章 生活を設計する	家庭科で学んできた学習を振り返りながら、生涯を見通した自分の生活設計について考えます。	

学習の方法	講義、ワークシート、実習、体験的な活動、グループ活動、発表、プレゼンテーションソフトを用いた授業など、様々な学習形態を通して、実践的、体験的に学習します。 ホームプロジェクト（課題）や家庭クラブ活動により、生活上の課題を設定し、解決方法を考え、計画を立てて実践し、科学的に探究したり、問題解決を図ったりします。
-------	--

評価の仕方	定期考査、実習、ノート・課題の提出状況、授業態度、作品、取組状況などを総合的に評価します。
-------	---

備考	調理実習に使用するため、エプロン・三角巾が必要です。
----	----------------------------

